



平成 26 年 1 月 第 21 号  
 東 部 ・ 北 部 家 畜 防 疫 獣 医 師 会  
 ( 公 社 ) 千 葉 県 畜 産 協 会  
 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所  
 T E L : 0 4 7 5 ( 5 2 ) 4 1 0 1  
 F A X : 0 4 7 5 ( 5 2 ) 3 3 3 5  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/>

## オーエスキー病清浄化進捗状況について (東部・北部家保管内)

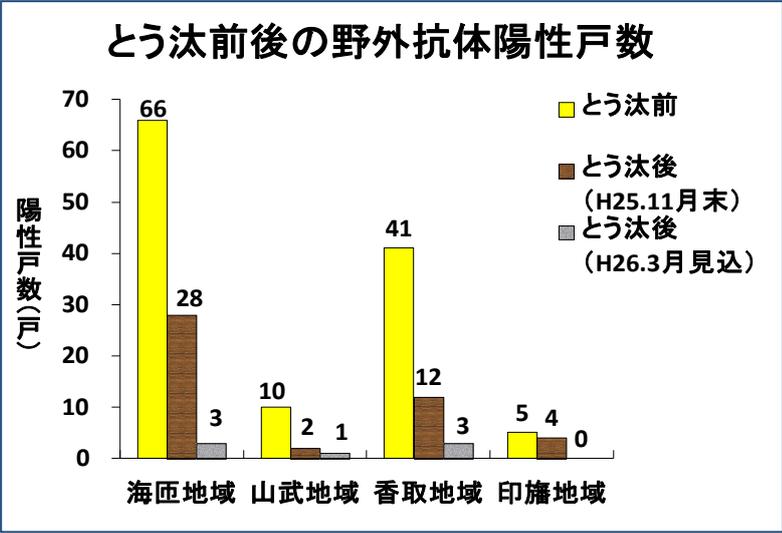
平成 25 年 11 月末現在、繁殖豚飼養者 186 戸の繁殖豚全頭検査を終了、122 戸で陽性豚が摘発されました。陰性農場を含め、平成 25 年 11 月までにとう汰を完了したのは 75% (140 戸)、平成 26 年 3 月末までのとう汰完了見込みは 96% (179 戸) であり、清浄化まではあと一歩です。

一方で、ごく少数の農場においてですが、陽性豚のとう汰終了から 1 年以上経過した後、再び繁殖豚陽性率が 40% を超えてしまった 再感染事例も確認されています。

全頭検査が終了し、もうこれで清浄化対策は十分と油断していませんか？  
 繁殖豚を清浄化してきた今だからこそ、少しの油断で感染が拡大する危険があります。導入元の衛生状況の確認に加え、飼養衛生管理とワクチン接種の再徹底  
(裏面：推奨プログラム参照)をお願いします。

地域別繁殖豚全頭検査実施状況(H23～)

地域	戸数		頭数		陽性率(%)	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	戸数別	頭数別
海匝	90	66	32,722	2,396	73.3	7.3
山武	25	10	3,484	212	40.0	6.1
香取	63	41	14,346	1,227	65.1	8.6
印旛	8	5	4,141	44	62.5	1.1
合計	186	122	54,693	3,879	65.6	7.1



## ☆推奨されるADワクチン接種プログラムは以下の通り

- 1 繁殖豚（♂と♀）：  
2月、6月、10月の3回／年
- 2 肥育豚：  
70及び100日齢の2回
- 3 導入豚：  
導入日もしくは導入日翌日と30日後の2回
- 4 候補豚：  
70、100、150日齢の3回

注意) 移行抗体にバラツキがあると肥育豚の接種日齢によっては出荷までワクチン抗体価が持続しないことがあります。ワクチン中止までの間は肥育豚への2回接種をお勧めします！！

## ～オーエスキー病清浄化対策研修会のお知らせ～

○日時：平成26年1月23日（木）13:00～

来てね！！

○場所：ヒューマンプラザ黄鶴

旭市鎌数 9229-1 (TEL 0479-63-0007)



○内容：1. AD 清浄化対策の経緯と今後のスケジュールについて

県農林水産部畜産課 吉田喜一郎

2. AD 種豚全頭検査実施状況と地域清浄化レベルについて

農済連北部家畜診療所長 矢光 潤

東部家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所

3. AD 清浄化阻害要因（陽性豚淘汰後の再感染等）への対応

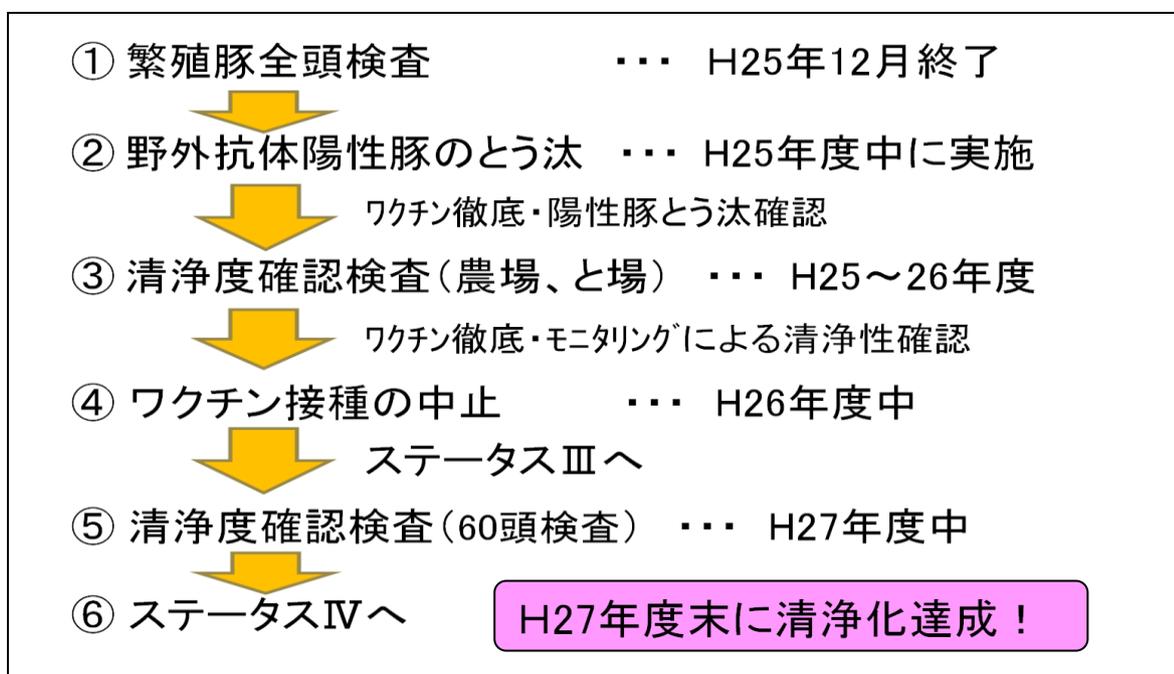
共立製薬（株）PA 営業推進部課長 上野 悟

（株）インターハット テクニカルサービスグループ 白川 浩二

## 今後のオーエスキー病清浄化スケジュール

平成 26 年 3 月までに陽性豚のとう汰を完了、並行してワクチン接種を徹底しつつ抽出による農場モニタリング検査、と畜場における出荷豚のモニタリング検査を実施し野外感染の拡大がないことを確認の上、地域単位で順次ワクチン接種を中止（遅くとも平成 27 年 3 月までに全戸中止）しステータスⅢに移行、ワクチン中止後 1 年以内に再度抽出による抗体検査を行い、平成 28 年 3 月までに全戸清浄化（ステータスⅣ）を達成する予定です。なお、再感染農場についてはワクチンプログラムを見直しモニタリングを強化します。

### AD 清浄化に向けたスケジュール



#### <清浄化推進に当たって>

- ① 繁殖豚陽性率が高くワクチン接種が不徹底な農場では、とう汰に時間がかかるとその期間中に他の豚に感染する可能性があります。  
→ ワクチン接種の徹底と陽性豚の早期とう汰を確実に実施してください！
- ② 繁殖全頭検査で陽性が摘発された農場では、とう汰終了後～ワクチン中止までの間に再感染がないことを確認するため、モニタリング検査を実施します。ご協力をお願いします。  
→ ワクチン中止は地域単位で行う予定です。それまではワクチン接種を徹底して下さい！

※ 注) きちんとワクチン接種していればウイルスの動きは抑えられます。